

笑ってごらん

第 524 号 H. 27. 9. 25 発行

～今日のことば～

朝には、希望を。

昼には、努力を。

夜には、感謝を。

◇◆21 日 (月) 15:00 キックオフ。鹿児島県高等学校女子サッカー選手権大会決勝 (対神村戦) が始まった。前半開始 7 分、相手のキーパーが前に飛び出したところへシュート、先取点を得た。さらに前半にもう 1 点追加点を得、2-0 で折り返した。後半、押され気味ながらも相手の主力メンバーに仕事をさせない、徹底したしつこいマークが功を奏し、そのまま終了。4 年ぶりの優勝となった。全員で勝ち取った勝利である。選手諸君、おめでとう！神村学園も共に九州選手権に臨むが、必ずや 4 位以内に入って全国選手権に名乗りを上げよう。 ◇◆23 日



(水)、地元の祭り「南さつまフェスタ」であった。本校からは吹奏楽部が音楽隊パレードに、男子生徒が大神輿パレードに、そして、我々『希望が丘のゆかいな仲間たち』がふるさと総踊りに出場した。朝から天候の崩れが心配な状況で、時折ポツポツと小さい雨を頬に感じていた。「まさか今年も数年前みたいに、土砂降りの中、ヤケクソで踊ることになるのか…」と半ばドキドキしながら空を見つめながらスタート地点へ向かった。 ◆音楽隊パレードにとって雨は禁物。楽器を濡らすと後が大変。踊り準備のため、実際に見ることはできなかったが、無事元気よく演奏パレードを終えたようだ。大神輿パレードも人数の少ない中ではありながら、とても元気よく取り組めたようである (踊りのスタート地点から遠目ながら見る事ができた)。 ◆90 分の総踊りが始まった。心配した雨も降らず、2 年生 30 名の精鋭部隊プラス体操部 4 名の我が連は最初から若々しさを存分にアピール。沿道から「校長！そげん気ばっとダルっど！ちった手を抜かん！」との声もかけられたが、気合いで踊りきった。汗びっしょりで踊り終えた生徒たち、疲れは見せているものの、「楽しかった！」と言ってくれたことが本当に嬉しかった。

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．

感謝道

◇◆『うわあ！先生！ハゼの木に触った？』…過日 15 日午後、病院受診をした際、私の両腕を見て医師が発した第一声である (「いきなり何のこと？」っていう人はバックナンバー 522 号に経緯を詳しく記載してあるので本校ブログで確認されたし)。「例のあのこと」(こう書くと何か意味深だな…) があって以降、12 日に本校の体育大会があり、翌 13 日には近隣中学校の体育大会に来賓として出席した。両日とも天気が良かったので、13 日夜に両腕が赤く腫れた時は「けっこう日焼けしたなあ、紫外線強かったし…」と思っていた。14 日も赤みは引くどころか、何だか黒ずんで硬化してきた。「ん？おかしいゾ」。15 日朝、水泡ができ、潰れ、ただれていた。さすがに慌てた…。で、冒頭の受診と相成った訳である。『先生、こりゃ日焼けじゃないよ。ハゼの木かぶれは 1 週間以上経ってから一気に出てくるのがあるからね！』。…ということは、あれはハゼの木だったのか…。Wikipedia 先生によると、『ウルシ科』とある。さもありなん。 ◆ウチに帰り、広い患部に処方された薬を塗ったり、抗アレルギー内服薬を飲んだ。1 時間後、今までに無い強い痒みと痛みに襲われるとともに、発疹が両腕全体 (手の甲まで) に広がった。それからというもの、何をするにも集中できず、テレビすら観る気になれない。ひたすら痒み・痛みを耐えた。2 時間後、急激に痒み・痛みが治まった。内服薬が効いてきたのであろう。夜 8 時頃には腫れが引いてきた。16 日朝には患部の周辺から赤みが引いてきた感じ。19 日にはほぼ完治。 ◆何だか闘病日記のようになってしまったが、初めての体験ゆえ、驚くことばかりであったので取り上げた。めったにないことだろうが、皆さんもウルシ科植物には気を付けて。